

冷凍食品業界における容器包装 3R 推進のための自主行動計画

第 3 回フォローアップ調査集計結果

<はじめに>

社団法人日本冷凍食品協会は 2006 年（平成 18 年）3 月に『冷凍食品業界における容器包装 3R 推進のための自主行動計画』を策定しています（別掲参照）。

3R とは、リデュース (Reduce : 減量)、リユース (Reuse : 再利用)、リサイクル (Recycle : 再生利用) のことですが、上記の自主行動計画では、このうち プラスチック製容器包装のリデュースについて「2010 年度までに 2004 年度実績比 3%削減（原単位）」 という数値目標を定めています。また、容器包装リサイクル法の対象が一般廃棄物として家庭から排出される容器包装であることから、調査対象は家庭用冷凍食品の容器包装に限定しています。

この自主行動計画では、「取組みの結果については毎年度検証し、公表する」としていることから、第 3 回フォローアップ調査を本年度実施し、家庭用冷凍食品メーカー大手 8 社にご協力いただきました。

<2008 年度の調査結果について>

結果は下表のとおりで、2008 年度の家庭用冷凍食品容器包装のプラスチック使用量原単位（冷凍食品販売数量 1 トン当たり）は、2004 年度に対して 2007 年度の 4.9%減少に引き続き、2008 年度は同比 7.6%減少しました。

「2010 年度までに原単位で 3%削減」という数値目標は 2007 年度にすでに達成していましたが、2008 年度はさらに数値を更新する結果となりました。これは、プラスチック使用量削減に取り組んだ対象商品数が着実に増加し、リデュースの推進が定着していることを顕現しています。

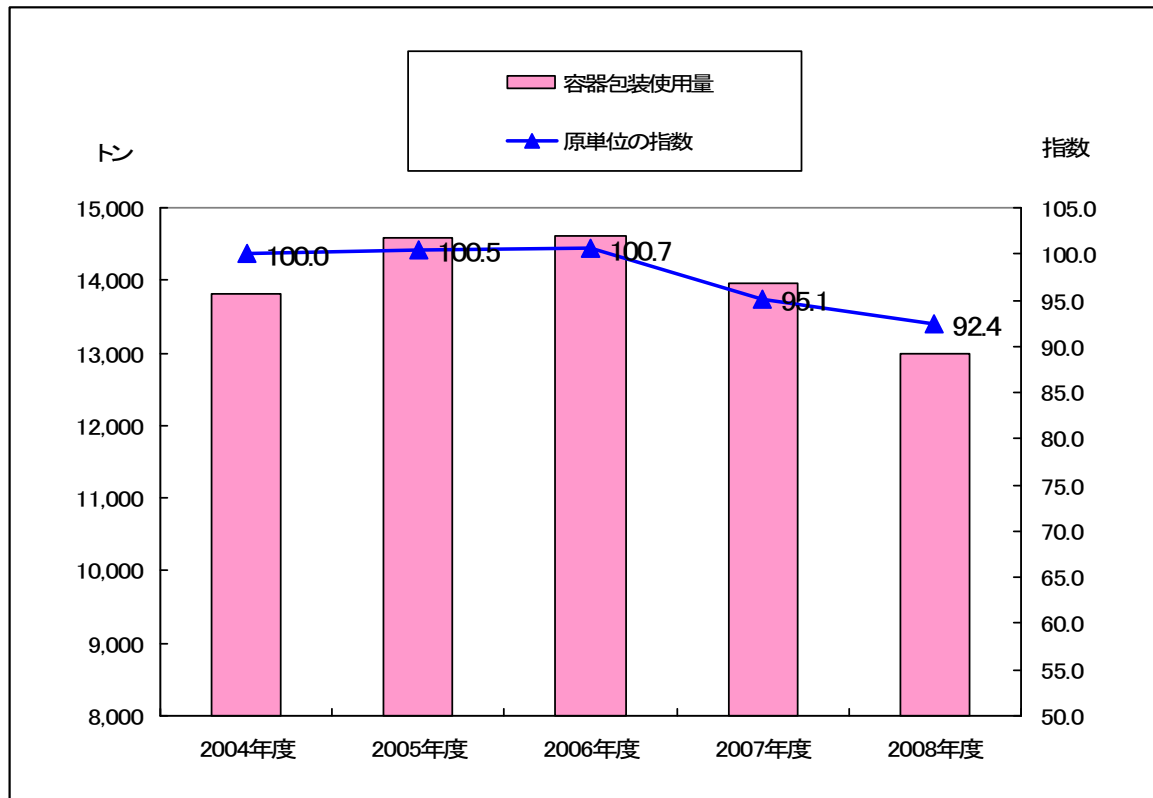
また、リデュース以外にも、リサイクルし易い包装として、パッケージのアルミ蒸着フィルムも進められています。

冷凍食品業界では、今後も対象商品の増加や、より環境に配慮した容器包装材質への変更など 3R 推進に取り組んでいきます。




<第3回フォローアップ調査集計結果>




調査対象：家庭用冷凍食品メーカー大手8社
 対象商品：プラスチック製容器包装を使用した家庭用冷凍食品
 指 数：2004年度を100とする

年 次	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
容器包装使用量 (トン)	13,824	14,592	14,611	13,969	12,996
同 指数	100.0	105.6	105.7	101.0	94.0
商品販売量の指数	100.0	105.1	105.0	106.3	101.8
原単位の指数	100.0	100.5	100.7	95.1	92.4



<3R 推進の主な事例>

会社名	株式会社加ト吉	商品名	讃岐麺一番 肉うどん
説明	麺を入れるトレイ、具材を置くトレイ及びフィルムを全て廃止し、コンパクトになったことで、冷蔵庫でも場所をとりません。		
効果	①具材トレイ（PP）重量：4g 削減 ②麺トレイ（PP）重量：9g 削減 ③具材フィルム（OPP）：1g 削減 合計で1製品当り約14g削減		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トレーを廃止</p>  <p>具材をスッポリ収める為麺にくぼみをつけました。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p>  </div> </div>			

会社名	株式会社ニチレイフーズ	商品名	焼おにぎり
説明	従来使用していたトレイを廃止し、重量の削減及び減容化を図りました。また、容器包装の削減とともに、配送の効率化、お店やご家庭における収納性にも配慮しました。		
効果	包装資材重量 10個入り 約45%削減 8個入り 約25%削減 体積比 10個入り 約50%減容 8個入り 約40%減容		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p>  <p>旧</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p>  <p>新</p> </div> </div>			

会社名	株式会社マルハニチロ食品	商品名	牛カルビマヨネーズ
説明	1. プラスチック使用量の削減を図るため、プラスチックトレーをコンパクトにしました。 2. プラスチックトレーを小さくしたことで、パッケージフィルムも小さくすることができました。		
効果	1. プラスチックトレー 改善前 6.21 g ⇒ 改善後 5.29 g (14.8%減) 2. パッケージフィルム 改善前 2.97 g ⇒ 改善後 2.55 g (14.1%減) プラスチック使用量合計 改善前 9.18 g ⇒ 改善後 7.84 g (14.6%減)		
改良前		改良後	
			

会社名	日本水産株式会社	商品名	ちゃんぽん
説明	冷凍麺や具材などを入れていたトレーをなくしました。		
効果	1製品あたりのプラスチック容器包装重量を10g削減。		
商品		変更内容	
			
「ちゃんぽん」		改良前・後の「ちゃんぽん」	